





楽しく表現「音楽集会」2年生

今日18日(木)は、音楽集会がありました。今回の集会では、2年生が「あんたがたどこさ」と「かぼちゃ」を歌や合奏で披露してくれました。「あんたがたどこさ」は、ご存知のとおり、わらべ歌です。歌と遊びが一体となっているため、2年生の子供たちも、「さ」の歌詞で、ボールをついた手とボールの間に足を通したり、友達と向き合って跳ぶ方向を変えたりと、一緒に遊びながら、歌う楽しさや喜びを味わう様子を披露してくれました。しかも次第にテンポが速くなって、跳びはねている子供たちも息が切れそうでした。この「あんたがたどこさ」は、元来、手毬つきの歌として生まれ親しまれてきました。しかし、子供の伝承遊びの衰退に伴い、この歌は子供たちの世界から消えかけてしまったことがあります。ただ、「2002年全国お手玉遊び熊本大会」で「あんたがたどこさ」が採用されたのを機に、「あんたがたどこさ」はお手玉遊びの歌としても全国のお手玉愛好者に親しまれて、復活を果たしたという経緯があるそうです。



また、「かぼちゃ」では、楽器はカスタネット・タンブリン・クラベス・鈴・ウッドブロック・小太鼓・トライアングルを使い、楽しく表現してくれました。音のリズムを体全体で表現しながら、楽器を一つずつ増やしていきながら、演奏する楽しさを味わっていました。楽器は、交代しながら、多くの子供たちが演奏を楽しんでいました。合奏と合唱を聴いていると、全力で発表する2年生の姿に惹き込まれていきました。

音楽専科の力田先生は、「2年生は、元気な声で歌い、わらべ歌の遊びも楽しみながら紹介してくれました。また、『かぼちゃ』のリズムや強弱を揃えて演奏していました。態度も立派で、学年のまとまりを感じました。」と述べています。

感想交流では、4年生が「『帯西ブルー』の心が伸びました。わけは2年生の『かぼちゃ』の合奏で楽器の音がきれいで感動したからです。」、6年生が「『帯西グリーン』の心が伸びました。『わらべ歌』の元気いっぱいさと、『かぼちゃ』の音が重なって音が大きくなって盛り上がったところが、一致団結があって自分も楽しくなったからです。」と感想を述べていました。その感想のお返しに2年生が「『あんたがたどこさ』で少しミスったけど、頑張れてうれしかったです。」と感想交流を締めくくってくれました。

音楽委員も、イントロクイズなどで集会に花を添えたり、感想交流で共感しながら一言コメントを添えたりしながら、活気のある音楽集会となりました。